



一般社団法人
日本善行会
〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: http://www.zenkoukai.or.jp
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を
照らすともしび。

令和元年度事業計画

平成三十一年三月十八日に平成三十年第四回理事会を開催し、令和元年度収支予算並びに事業計画は下記の通り審議承認されました。

1 表彰による善行活動の推進

本会の善行表彰は、今年度で六十九回目となり、前年度までの表彰総数は、44,908件に達している。この善行表彰を受賞した多くの方々は、引き続き各地で善行活動を実践し、善行の輪を各地域に広げている。

(1) 春季・特別善行表彰

実施時期
令和元年
五月十八日(土)

実施場所
明治神宮参集殿

(2) 秋季善行表彰

実施時期
令和元年
十一月三十日(土)

実施場所
明治神宮参集殿

2 善行実践活動の推進

善行実践活動は、社会を明るくする原動力であり、会の組織を挙げ、また、地域住民とも連携して、これに取り組み、善行の輪の拡大に努める。

3 長寿善行者の御接見

この事業は、善行表彰受賞者が、皇太子同妃両殿下から御接見の栄誉を賜る意義深いものであり、この長寿善行者の御接見は、昭和四十五年九月九日に実現し、平成三十年まで実施されてきた。今年度においても、関係方面と協議し、引き続きの実施を図る。

4 広報啓発活動の充実

情報化時代を迎えた今日、月刊紙「明るいニュース」やホームページが果たしている役割は大きい。「明るいニュース」の記事やホームページの充実を図って、各支部及び会員との連携の強化に努める。

5 組織と財政基盤の強化

本会は、会員によって構成され、主に会員が拠出する会費によって運営されており、会員の増加が財政基盤の強化に直結している。

6 諸会議の開催

本会の定款に定められている会議には、総会、理事会及び常務理事会がある。また、定款には定められていないもの、本会業務の連絡調整の場として支部長会が設けられている。

(1) 第一回理事会総会

開催時期
令和元年
六月二十一日(金)

開催場所
グランドヒル市ヶ谷

(2) 第二回理事会支部長会

開催時期
令和元年
九月十三日(金)

開催場所
グランドヒル市ヶ谷

対談

スーパージョランテア
尾島 春夫 さん
山下純雲子副会長
最終回

「思い出探し隊」の隊長、若いボランティアからは「師匠」と呼ばれ…

山下…南三陸町では「思い出探し隊」隊長として、五〇〇日の活躍はすごいですね！

尾島…すべてを失った皆さんに、「思い出になる物」を多く探して、役に立ちたいという思いでした。嬉しかったのは、若いボランティアの方が多く参加して、一緒に汗を流してくれました。ありがたいことです。



山下…およそ一年と五ヶ月間、想像をはるかに絶する「半端ない活動」には、「社会にご恩返しする」その強い信念の象徴ですね。東北地方の気候は大分県と違い大変なご苦労があったのではないですか。

尾島…苦労など感じたことはありません！避難所生活をしている皆さんの苦勞は計り知れませんが、真夏の暑さの作業は、汗が流れますが「暑い」と言うのは禁句です。ぎゅうぎゅう詰り状態で暮らす方々は、不平不満を言うでもなく、お互いに励まし、耐え忍んで暮らしていました。一日も早い復興を目指して、お互い前向きに暮らす皆さんを見てきました。それから好きな酒を断っています。

《「思い出探し隊」の隊長、若いボランティアからは「師匠」と呼ばれ…》

山下…これまで、いろいろなボランティアの方々と活動して来たと思います。特に印象に残ることはありましたか？

尾島…人の悪口は好きではありません。避難所のベイサイドアリーナには一八〇〇人の方々が身を寄せ合い、座ったまままで寝ていました。よく見ると、その中にボランティアの方が紛れ込み、信じられない光景に愕然としました。翌朝、広場で炊き出しがあり、空腹の避難者達が長蛇の列の中に、なんとボラン

《「思い出探し隊」の隊長、若いボランティアからは「師匠」と呼ばれ…》

山下…これまでも、いろいろなボランティアの方々と活動して来たと思います。特に印象に残ることはありましたか？

尾島…人の悪口は好きではありません。避難所のベイサイドアリーナには一八〇〇人の方々が身を寄せ合い、座ったまままで寝ていました。よく見ると、その中にボランティアの方が紛れ込み、信じられない光景に愕然としました。翌朝、広場で炊き出しがあり、空腹の避難者達が長蛇の列の中に、なんとボラン

尾島…苦労など感じたことはありません！避難所生活をしている皆さんの苦勞は計り知れませんが、真夏の暑さの作業は、汗が流れますが「暑い」と言うのは禁句です。ぎゅうぎゅう詰り状態で暮らす方々は、不平不満を言うでもなく、お互いに励まし、耐え忍んで暮らしていました。一日も早い復興を目指して、お互い前向きに暮らす皆さんを見てきました。それから好きな酒を断っています。

《「思い出探し隊」の隊長、若いボランティアからは「師匠」と呼ばれ…》

山下…これまで、いろいろなボランティアの方々と活動して来たと思います。特に印象に残ることはありましたか？

平成三十年度 善行川柳年間大賞



選者 東 逸平

【会長賞】

○善行表彰 亡父の涙が きらめきて
宮城県 阿部 澄江

【講評】

会長賞は、ベテラン達を抜いて平成三十年八月号の掲載作品を選びました。当時の評を再掲しますと、「亡き父への思慕が、表彰状紙面いつぱいに輝いて、涙がとめない娘の亡き父への愛情がきらめいています。」この評価に勝る評はありません。冒頭の《善行表彰》という語句に、善行川柳の作句の要点がきらめいています。

【優秀賞】

○潔ぎ良く ゴム長進む 農水路
静岡県 田中 久子

【講評】

平成三十年五月号の作品から選びました。当時の評を再掲します。「《ゴム長進》の字句が達者な表現です。進むか、進まないか、風雨の後の水田一面に溢れた雨水を眺め、立ち往生する気持ちや叱咤する作者の気持ちがよく表れています。」実は選者は悩みました。この句が会長賞ではなかったかと、いずれも甲乙つけ難い秀作です。

【優秀賞】

○ほめられて もっとがんばる 一年生
東京都 鎌倉 湖

【講評】

平成三十年五月号の作品から選びました。当時の評を再掲します。「《もっとがんばる》が利いていますね。ほめられて、ほめられて一年生は笑顔いっぱい。毎日が楽しくて、楽しくて、ああ私たちもウン十年前は、ピッカピッカの一年生でしたね。」人は褒められて、人を褒めることが出来るんです。褒められる心、褒める心への愛情が育ちます。褒められた一年生は、ウン十年後、きつと人の世に愛を拾う優れたボランティア活動の出来る人になるでしょう。

【選者より】

年間四十二作品の中より、三つの賞を選ばせて頂きました。ベテラン作者達も優れたものですが、今回は新鮮な独創力のある新進の作者から選びました。

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの賛助金により運営されております。広く会員を募集しております。